

令和2年度第3回札幌市学校給食運営委員会 議事録

I 開催日時

令和3年2月18日（木）15:00～17:30

II 開催場所

札幌市教育委員会 6階A・B会議室

III 出席者

1 委員 12名

附田委員長、池田委員、相馬委員 (札幌市小学校長会3名)
高橋委員 (札幌市中学校長会1名)
千葉委員、運上委員、松宮委員 (札幌市学校給食栄養士会3名)
中野委員、村形委員、井手委員、阿部委員 (札幌市PTA協議会3名)
油屋委員 (札幌市学校給食会1名)
百々瀬委員 (学識経験者1名)

2 事務局 8名

前田保健給食課長、泉栄養指導担当課長、羽田給食係長、
北市制度担当係長、竹腰栄養指導担当係長、鴛海栄養指導担当係長
高木栄養指導担当係員、吉田給食係員

3 傍聴者 報道機関記者 1名

IV 欠席者

宮越委員、三浦委員

V 開会

○ 委員長より、非公開とすることを確認。

VI 議事等

1 令和3年度学校給食費の算定について

【委員長からの説明】

- 委員より追加の資料があったため、事務局から各委員に配布いただく。
- 前回、一食単価の牛乳単価と副食単価について確定値が提示されていたが、主食の中の数値に未確定のものがあつた。この確定値について事務局から説明がある。また、前回の会議以降、各団体で議論いただいている一食単価と実施回数を決定し、令和3年度の学校給食費に係る答申をまとめたい。
- 前回、委員から質問のあつた他都市の給食実施回数と給食費を事務局が確認することになっていたのので、そのことについて説明いただく。

【事務局からの説明】

- この確認事項は、前年度の運営委員会においても提供したものになる。小学校と中学校では、調査結果に若干の差があるため、小学校で説明する。
本市を含む20政令市の3分の2に当たる13市では、学校ごとに給食実施回数及び給食費をそれぞれ設定していた。一方、3分の1に当たる6市では、給食実施回数及び給食費を統一しており、給食実施回数が学校により異なっており、給食費が統一されているのは本市のみとなる。
- 中学校については、本市だけでなく、他都市も学校により給食の実施回数が異なり、給食費を統一している状況。

【委員長から】

- ただいまの説明については、実施回数の審議の参考とすることとしたいと思うため、ご質問やご意見等については、後ほど、その段になりましたら併せて伺いたいと思うがよろしいか。

【質疑応答】

委員	<p>資料②も同じデータが載っていると思う。これは、昨年度、事務局から会議のときにいただいた資料の表を打ち直して持ってきたものになる。</p> <p>札幌市は極めて特別な状況かと思うが、調査の内容や方法が分からないため委員会として札幌市の状況をどういうふうに捉えていらっしゃるのか、教えていただければと思う。</p>
事務局	<p>委員から提供いただいた資料に載っている表と同じ内容の表については、先ほど事務局から説明した。</p> <p>札幌市の一市だけがほかの政令市と異なっている状況だが、それぞれの都市によっていろいろな状況がある。この調査の結果は、確かに札幌市だけがほかの政令市と違うやり方になっているが、札幌市は札幌市で検討した結果、こういうやり方を今まで続けてきたと考えている。</p>

委員	<p>この中で、例えば、給食センターになっていたり、給食費が公費負担されている地区があることなどは政令都市なので分からないのですけれども、この数値だけでは分からない。</p> <p>前にもお話ししたが、給食センターでやっている調査でいくと、一食たりともプラスできないので、お弁当を持ってきてくださいというところがあるわけですから、数だけを単純に見ても中身が分からない。札幌のこともどうなのか分からないと思うが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>いろいろな状況の都市があるため、そのやり方もいろいろあると思うが、札幌市として過去来から検討しながらこういう進み方で来ているものと考えている。</p>
委員長	<p>委員には、後ほど、ご質問と意見を併せていただければと思う。いずれにしても、学校によって異なる方法がよいという意見をお持ちだと思いますので、その段のときにお話しただく。ほかにも同じ意見の委員がいらっしゃると思いますので、そのときご発言をいただきたいと思う。</p>

<主食単価について>

【事務局からの説明】

- 前回、主食単価の積算に用いる北海道学校給食会が決定する売り渡し価格が未確定であったことから、想定値として提示していた。改めて確認したところ、ほぼ確定の価格であり、よほどのことがない限り変更しない旨の回答を得ていることから、前回示した想定値をそのまま確定値とする。

【質疑応答】

特になし

<一食単価について>

【事務局からの説明】

- 主食単価については前回示した想定値をそのまま確定値としたため、一食単価についても、想定値と同額となる。
- 小学校低学年では、現在の給食費 2 6 9 円 4 9 銭から 2 7 2 円 4 6 銭となり、2 円 9 7 銭の値上がり、小学校中学年では、2 7 4 円 1 3 銭から 2 7 7 円 3 銭となり、2 円 9 0 銭の値上がり、小学校高学年では、2 7 7 円 8 1 銭から 2 8 0 円 6 8 銭となり、2 年 8 7 銭円の値上がり、中学校では、3 2 8 円 4 9 銭から 3 3 1 円 6 8 銭となり、3 円 1 9 銭の値上がりとなる。

- 政令市、道内の主要都市のほとんどが来年度の給食費については値上げをせず、据え置くことを確認している。据え置く理由としては、コロナ禍により景気が好ましい状況ではなく、給食費の未納率も徐々に上昇しているためとのことだった。
- こちらのグラフは、本市の学校給食費未納額と未納率の推移をお示ししたものになる。平成30年度までは、給食費の未納率は10年連続で減少していたが、令和元年度の給食費の未納率は前年度と比較し上昇に転じた。今年度の未納率につきましてはまだ集計を行っていないが、上昇する可能性がある。
- 札幌市は観光都市であり、コロナ禍での観光業における経営は深刻な状況であるということは皆さんご承知と思う。道内では倒産件数のほか、失業率も上昇傾向にあり、給食費の値上げは、観光業やそれに付随する業務など、コロナ禍で経営が厳しい業種で収入を得ている世帯にとっては非常に厳しいものであると考えている。
- 今年度と同じく1食当たり平均して約3円の値上がりの状況だった令和元年度は、消費税が8%から10%へ引き上げられることが確定しており、給食費の値上げは厳しいものと運営委員会では考え、据え置きとなった。
- 給食費の値上げが家計に影響を及ぼす可能性は十分にあると想定される。家計に影響が出るということは給食費の未納が増えることが想定され、本来徴収できるはずの給食費が徴収できないことは、給食費総額の減少に直結する。
- 今年度は1食当たり3円であっても値上げは厳しいものではないかと考えている。1食当たり3円の値上げが未納の増加の全てつながるものではないが、総合的に給食費が不足することを事務局として懸念している。

【質疑応答】

<p>委員長</p>	<p>事務局から説明、補足をいただいた一食単価についてですが、今回は、場合によっては値上げもやむを得ないという意見が出ていたところです。その後、各団体でもご議論いただいていると思うので、一堂に会して一つの意見に束ねることは難しいかもしれませんが、お聞きになっている情報やそれを踏まえたご意見、ご質問などがあつた、伺っていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>集まりをなかなか持てない状況がありますので、3地区の支部に区ごとに集まっていただき検討したところ、値上げはやむなしと言っていた区が二つございましたが、ほかのところからの回答は来ていない状況です。</p>

	<p>未納が結構多い学校は、厳しいので、上げないでほしいということ、もう一人の委員からは、経済状況を考えて上げないでほしいという意見があった。</p>
委員	<p>先ほど事務局からお話があった部分だが、実際に現場にいる者として、保護者の立場やコロナ禍のいろいろな状況に鑑みますと、金額が大きい小さいにかかわらず、気持ち的な問題がすごく大きいと考えている。できるのであれば、令和3年度については据え置きの方方向性にしていただけると、現場としてすごくありがたいと思っている。</p> <p>保護者の仕事については、データを全て取っているわけではないが、実際に厳しい状況であることは間違いないと思っている。また、子どもたちに安心して学校給食を食べてもらう状況も考えていかなければいけないと思い、なかなか難しい問題だが、総合的に考えた中で据え置く方向性がいいと考えている。</p>
委員	<p>令和3年度の学校給食費は、基本的に案1の据え置きのほうに賛成という形です。様々な地域の中には未納率の高い地域もありますし、そうでないところもあるかもしれない。先ほど事務局から説明があった考えをお持ちの校長先生方は随分たくさんいる。</p> <p>社会情勢やそれぞれの地域における、例えば、就学援助の申請者数が若干増えているとか、具体的な数値ではないのですが、未納の率が前年度よりも高まっている印象があるなどの声も聞いている。案の1の据え置きに賛成とお伝えする。</p>
委員	<p>共同購入で食材を購入しているが、この前の共同購入委員会では、業者が入札をして、実際に物資の味見をするなり、価格を比較するなりして、1年間に購入するものを選定したのだが、その場において、いろいろなものが値上がりしているという報告を聞いた。</p> <p>魚介類もそうだが、肉なども毎月、上昇が目立つ。新聞報道などでは市販の油も上昇しているという記事があった。学校給食も一、二割上がると言われているそうだ。来年度の給食費はこのままだと非常に厳しいという思いがある。</p> <p>先ほど給食費の値上げと未納のことについてのお話があったのだが、札幌市の未納対策をどのようにお考えか。</p>

事務局	<p>未納についてだが、札幌市の給食費自体は私会計の形で行っている。教育委員会が各学校にこういう案はどうでしょうというご提案をすることはできるが、具体的にこういう対策をしてくださいという命令、指示は難しいところがある。未納の対策については学校の先生方に行っていただいている状況になっている。</p>
委員	<p>未納につきましては、本校もないわけではなく、教頭が電話をし、校務助手が督促状を書いて、担任から配っていただいている。さて、そこで電話をする時間ですが、共働きや片親の保護者の方などは、大体6時から7時に電話をするので、残業になる。しかし、給食費を払っていただけないので、取りに行くと7時になるので、残業になります。この状況を委員会はどうか考えられますか。</p> <p>もう一つは仮の話ですが、給食の栄養価が担保できないほど未納が増えたときに、教育委員会ではどういうふうに考えられますか。</p>
委員長	<p>事務局から、今のお話について何かありますか。委員のご意見は分かりました。お話が途中で申し訳ありません。値上がりの幅を考えると、厳しい状況にあるのですね。</p>
委員	<p>先ほど申しましたように、物価が上がる中で給食費が上がらないのは苦しいという声が会員からも声が上がっていますので、この場で代表して言わせていただきました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>値上げはどうかということはなかなか申し上げづらいのですが、給食に係る原材料費など、単材料費等が非常に上がってきているのは、油や魚介、肉などです。それらがそれぞれ上がってきているので、学校におきましても栄養士さんにおきましても非常にご苦労されている状況があると思う。そう考えると、値上げを検討しなければならないと思う。</p> <p>しかし、事務局の説明にもあったが、今のご時世、この状況の中で、値上げをすることについての説明がきちんとできるかと考えると、値上げの判断をするのはなかなか勇気が要ると思う。学校と栄養士の皆さんには引き続きご苦労いただくことになるかもしれませんが、お話を伺っていると、値上げはなかなか難しいという印象がある。</p>

委員	<p>役員会と理事会で結構時間を取っていろいろな意見を聞きながら進めたのだが、値上げの是非については議論していない。あくまでも資料にある案の1、案の2、その他の意見としていろいろと集約した。</p> <p>結論から申し上げますと、案の2で意見が一致したというより、こちらのほうが大勢を取った形。意見の中には、据え置きがいいのではないかという方もいたが、その理由としては、学校の事務手続の煩雑さが大変心配だということで、全市一律のほうがやりやすいのではないかということでした。</p> <p>地域や学校の特色によって食べた回数が違うことは理解できるので、子どもが食べた回数、掛ける一食単価がいいということで意見がまとまった。</p>
委員長	<p>今のお話は後段でさらに詳しくご審議いただくとして、直接触れられなかった一食単価の件については、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>単価の話はしていない。あくまでも年間基準実施回数です。役員会では、単価の話というより、給食費の運営委員会が給食費についての話をしている中で出た意見で、物価が上がっている中で給食費だけが上がらないのは、現場の調理のことを考えると上げないわけにはいかないでしょうということで、実際に子どもたちが食べた単価を払いたいということだった。</p>
委員	<p>未納率の問題はあると思うが、しょうがないだろうという話になると思う。物価が上がったら単価が上がるのは当たり前で、誰もが理解できる話なので、未納の率だけを考えて数字をいじると品質の低下が起きるかもしれない。</p> <p>要は物価が上がっているのに、給食費を上げないことによる品質低下で、前回言っていたコマツナがモヤシに変わることになってしまうのであれば、子どもと保護者は消費者側なので、費用に対する対価を得られていないと思う。ですので、私個人としては、物価が上がれば給食費も当然上がるものと思っている。</p> <p>先ほどの未納の件に関して質問したいだが、学校現場で督促状を出すことは、個人的には学校の業務ではないと思う。払っていない相手に対して、教育者が払うように督促する行</p>

	<p>為は教育でも何でもないので、例えば、それを札幌市で一括でお出しできるように、督促部隊のような部門をつくる案をここから上げるのは無理なことか。</p>
委員長	<p>公会計化にする前にということか。もし今のままになると私費なのでということで、また同じ話になるかもしれませんが、事務局はいかがですか。</p>
委員	<p>学校現場は督促などする業務ではないだろうという話です。それは札幌市がやるべきだろうという案をこの委員会の決議として浮上させることは不可能か。</p> <p>もう1点、来期の話になるが、お金に関することなどは結構大きい問題だと思うので、運営委員会については、去年も今年も逆に公開で開催してもいいと思って聞いていた。なおかつ、もっと早めに、例えば、年度初めにやってくれば、話をどんどんもんでいける。保護者はどちらかという学校側の味方ですし、未納問題についても、協力できるところは協力していきたい。</p>
委員	<p>給食費を上げなかった分に公費を投入してくれるのかという話をしていた。上げないのだったらその分は札幌市が負担してくれるのではないかと思うのは当然だと思う。物価が上がったら給食費も上がる、これが当たり前で、上がったものを上げないのだったら、税金を投入して、その分を補填してくれますかという話になるのではないかと思った。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。先ほどの説明では、今年はタイミングとして上げられないということで、ずっと上げないというわけではないのですね。</p> <p>これまでの経緯はどんな感じだったのか。おおよそ何年に1度とか、傾向のようなものは何かありますか。</p>
事務局	<p>資料をご覧いただければと思います。こちらは、平成20年度から今年度の令和2年度までの学校給食費の推移をまとめたものになっております。据え置きするときもありますが、連続して上げているときもございます。その時々運営委員会で審議をいただいて、その結果、給食費を上げたり、上げなかったりする形になっている。札幌市の場合には何年おきというルールは設けていない。</p>

委員長	3年に一度などという規則で上げているわけではないのですか。
事務局	はい、そうです。
委員長	状況に応じてということです。委員はいかがですか。
委員	<p>前回の会議のときに、食材費が上がるのであれば単価が上がっても仕方がないという方向になっていたと思うのですが、それはそれぞれのグループで確認していただいたと思います。</p> <p>給食費を上げるかどうかについて次の議論になると思うのは、今、一食単価は上がるということですが、回数はどうかということがありますし、未納率さえ下がれば、この金額でもいいかもしれないということもあります。あるいは、一食単価は上がるかもしれないけれども、回数等の調整も含めて給食費をどうするかという話もあるので、今すぐ給食費を上げる上げないという前に、まずは、一食単価の設定を3円程度上げる方向で次のステップに進むのはどうかと思って聞いていた。</p> <p>もう1点目は未納率の回収の話ですが、札幌市で一律に年間基準回数や単価、金額などを決めているのに、回収するところが各学校で私会計ということは、客観的に聞いていて、改めておかしい気がします。</p> <p>今、学校では特に新型コロナウイルスの関係で、消毒の業務なども含めて先生方は教育以外の仕事が増えていると思います。せめて金のことは、教育委員会で考えていただいてもいいのではないかと思う。</p> <p>学校給食費を札幌市で統一するのであれば、回収方法も統一することも考えていかなければいけないのではないかと思います。この話は毎年のように出ておりますので、これを機会に、もう一度その点をご審議に上げてよいかと思って聞いていた。</p>
委員長	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>この後は年間基準実施回数の議論に移ると思いますので、一旦、今のところは両論で様々にあるというところで、さらに進みながら両論を考えてみるということはいかがですか。</p>

事務局	<p>今、給食費の徴収の話や私会計のことなど、いろいろなお話があったが、資料に、学校給食費の決定までの流れの図がある。</p> <p>小学校長会と中学校長会から給食費の件についての検討の依頼が教育委員会にありまして、教育委員会から学校給食運営委員会に諮問して、その委員会から答申をいただく。</p> <p>教育委員会は、それを学校長会に、こういう答申がありましたよとお返しすることになる。それを各校長会は各小・中学校に、こういうふうになりますと通知して、各学校給食費を決定して学校給食を実施していく流れになっております。給食費が決まって、給食費を集めて、その給食費で学校給食を運営しているのが現状です。</p> <p>それを行政が徴収するべきではないかというところは、今の仕組みが変わっていけばというところはあるかもしれませんが、現状において、学校で給食を運営している中では、なかなか難しいと考えます。</p> <p>先ほどありましたように、学校では実際に残業で夜になってしまうなど、学校業務をしながら作業をするので、苦しいことや難しいことがあってご苦勞をされている部分はあると思いますが、仕組みとしてはそういう流れであることをお知らせしたいと思う。</p> <p>まず、仕組みの部分をお話しさせていただきたかった。</p>
-----	--

<一食単価について>

【事務局からの説明】

- 前回第2回の会議の時点で完了していなかった令和3年度の給食実施予定回数の調査を集計し、その分布を示した。
- 左側が小学校、右側が中学校になり、左の欄の回数を実施する学校が何校あるかというものを学年別に分布で示している。表の中の太枠で囲まれた部分が平均回数で、灰色の網かけの部分は年間基準実施回数を示している。一番下の米印にあるが、最終的な年間行事予定が決定していないため、給食の年間基準回数も確定しない学校があることから、回答率は100%とはなっていない。左側の小学校、右側の中学校ともに、年間基準実施回数と平均回数を比べると、同じか、もしくは平均回数のほうが1回多くなっている。
- 昨年度、令和元年度の学校給食運営委員会において、年間基準実施回数の

考え方について検討した内容になる。実際の給食実施回数は暦の影響により毎年度変動があるが、年間基準回数を基準として設定する以上、頻繁に変えるべきものではないという考え方から、今後数年間、実際の給食実施回数と大きく乖離しないような年間基準実施回数を設定する必要があるとした。

- 令和2年度の平均回数をそのまま年間基準実施回数とした場合、令和2年度は実際の給食実施回数と大きく乖離することはないが、令和3年度以降は、令和2年度よりも授業可能日数が減少傾向にあるため、年間基準実施回数と実際の給食実施回数が乖離する可能性があるとして想定されていた。このことから、令和3年度以降も実際の給食実施回数と大きく乖離しないよう、令和2年度の平均回数に、暦による変動を考慮した数値を算出し、年間実施回数案とした。
- 年間基準実施回数は、令和2年度の平均回数に、令和2年度を基準とした令和2年から6年度の事業可能日数の差の平均を足したものになっている。こうしたことから、令和2年度の給食費の審議では、その後も見据えた検討を行っており、少なくとも令和2年度から5年間となる令和6年度まで継続した考えで運用することができるものとなっている。

【質疑応答】

委員	<p>白石区については現行のままで、年間基準実施回数がいいということでした。手稲支部も同じ、全市統一の金額にしてほしいということで同じ意見になる。厚別支部については分かれています、業務等が頻繁になるので、現状がいいのではないかとことです。ただ、現状の回数において、不公平感なり不都合がある場合は変えるべきだろうという意見が両方から出ています。以上の3地区になる。</p>
委員	<p>それぞれの学校の実態が違うので、すごく難しい問題だと思う。先ほど皆さんから出てきたご意見を総合的に考えていても、ではどうしていけばいいのかという結論がすぐに出てこないのが現状だと思っている。</p> <p>ただ、ある程度の目安の部分をつくっていく、今まであった部分をこの後も継続していくのか、あるいは変えていくのかということになるが、変えるのであればいつから変えていくのだということも考えていかなければいけないと思う。</p> <p>令和3年度と考えたときに、残りは1か月と少しと期限が本当にない中で、時間的なものなどいろいろな部分を総合的に鑑みた中で、どういう形で進めていくのかということ</p>

	<p>現実的な部分を含めて考えていく必要があると思う。</p> <p>私的な部分で言うと、来年度と見る場合は、まず、給食の年間基準実施回数の辺りを考えた上で、その後どうしていくのかという議論をしっかりと深めていくことが大切だと考えている。</p>
委員	<p>年間基準実施回数をこれまでどおり設定し、全市統一の学校給食費とするという案の1に賛成の立場である。</p> <p>この考えは非常に多くの校長先生方からいただいたものです。いろいろな団体からいただいた資料等を参考にさせていただきながら話題としてきたところだが、学校ごとに設定する場合とこれまでどおり行う場合で、改めて校長の目を見たときに、大きな変更をするまでのメリットはないのではないかとの意見が随分あった。</p> <p>それよりも、年間基準実施回数の考え方が学校にとってどれほど重要なのか、この委員会の中で毎年様々に議論されているとことをもっと広く共有する機会を啓発して、基準回数にぐっと近づけていくことのほうが大切ではないかという考えが大変多くあった。</p> <p>校務助手やほかの団体や職員にどれほどの負担が行くのがなかなか見えにくい中で、働き方改革との関連で業務負担につながる可能性があることも踏まえ、案の1の年間基準実施回数を勧める校長が多くいた。</p> <p>もう1点、心配していた中身としては、基準という枠組みがなくなってしまうことで、学校の特色を生かした教育課程ができる反面、万が一、給食の回数の差が今以上に広がることになれば、教育課程の違いがあるとはいえ、保護者の皆さんや市民の皆さんの中から不公平感を非常に感じる方が出てくるのではないかと思う。一定の枠組み、基準は必要であるということが会の現状の考えであります。</p> <p>公会計化が進んで将来的に学校が徴収する仕組みではなくなる見通しがあるとなれば、学校ごとに移行してしまうことが高いハードルとなって、今後起こり得る可能性があるという意見もあった。公会計化とセットで考えていくにしても、現状、令和3年度ということではなく、年間基準実施回数を設定すべきであろうというのが会の考えです。</p>

委員	<p>令和3年度の給食実施予定回数分布の表と1回目の会議のときにいただいた資料とを見比べたのだが、元年度に比べると、どの学校も実施回数が増えているという印象を持った。平均より少ないところは基準回数でいいというご意見が大方だが、基準回数が1回でも超えていると、その分の給食費を何とかしなければならないということになる。</p> <p>全体の意見でいくとどうかと思うのだが、年間基準実施回数派が多い現状があります。ですので、難しいところではあるのですが、基準回数でいくのであれば、基準回数の考え方を上限にするような考えのものにしていただきたいという要望です。</p>
委員	<p>先ほど、この件についてお話ししてしまったが、案の2で意見がまとまっている。保護者から見て、学校の授業のカリキュラムというか、プログラムは、全市でほぼ統一されてなければいけません。そこを考えて、なおかつ給食の回数にこれだけ差があるのは地域性だと思う。</p> <p>委員からいろいろと説明をいただいたが、例えば、校外学習に行くときに、地下鉄が近いのか、公共機関がないのか、バスに乗らなければいけないのかといったときに、弁当をつくってきてくださいという学校もある。こういう違いを公平不公平で話す話ではなく、地域性で考えると給食の実施回数がばらつくのは理解できる。</p> <p>だからといって、地域によって何十回も違うシーンはちょっとないだろうと考えます。学校長の判断でやるやらないということが多少出てきても、歯止めがつかないことを考えると、年間基準実施回数ではなく、標準というか、目標というか、このくらいの給食は提供してくださいということがあってしかるべきではないかと思う。要は食べた回数、掛ける単価にしていきたいという考えです。</p> <p>ただ、令和3年度にこれができるのかという話は、できるならばやってもらいたいけれども、物理的にとといいますか、事務的にとといいますか、現場サイドでできるのですかという話があります。ですから、令和3年度については、今定められている実施回数でも、教育のカリキュラムが大きく崩れないのであればそのとおりでいいのではないかと個人的に思っ</p>

	<p>ている。</p>
委員	<p>去年も同じことを言ったのだが、札幌市は10区に分かれている。いろいろな地域性のある区で話を進めていけば、最後にこの場でいろいろな話をもんでいけるので、もっと早い段階での学校給食運営委員会の開催をお願いしたいと思う。この時期だと、どたばたになってしまって、結局しようがない決議になってしまう。それが毎年続くようだったら話にならないと思うので、そこら辺を改善していけばいいのではないかと思う。</p>
委員	<p>皆様のお話を伺っていて私が考えていることは、食べた分だけお支払いをするというのが一般的なルールだと思っている。</p> <p>その回数だが、札幌市で考えている年間基準実施回数は保護者の方も知らないということで、校長先生にしても、給食の運営委員をされている校長先生はお詳しいかもしれませんが、そうではない先生は知らないとは言いませんが、あまり意識されないで、いろいろな教育の計画を立てられている可能性があると思う。</p> <p>改めて、単価、掛ける回数でこういう基準になるということを知っていただいた上で、学校の教育を決めていただくことが大事だと思う。</p> <p>各学校は、年間基準実施回数を目安に給食を出して、2月までは全市統一の金額で3月に調整する。うちの学校は行事でお弁当が多く、給食費があまりかからなかった、予定していた行事が中止になって、急遽給食が増えたので、3月は思っていたより多くなるという形で、基準の回数よりも多いとか少ないということがある。改めて3月の分を早めにお知らせすれば、学校ごとに調整を利かせて札幌市としての回数がある程度統一されるので、そのような折衷案ができれば良いと思う。</p>
委員長	<p>皆様方からご意見を頂戴したが、本来あるべき望ましい姿として、実際に食べた回数で検討していくことが必須だということでは感じられつつ、その一方では、そもそも年間基準実施回数に近づけるように努力しているのか、それに標準性がないところがあるのではないかというものもあった。</p>

	<p>そもそも基準回数を議論する前に、各学校が教育課程という傘をかぶって、そこをちゃんとやっていないのではないかという問題提起もあったと思う。</p> <p>時間的なスケジュール、例えば、3月に調整するにしても、その仕組みをこの1か月でするのは非常に難しいので、悲しい結論が出ると思う。年間基準実施回数については、来年度の令和3年度はこのやり方で進めるものの、次年度以降の委員会は12月から始めるのではなくて、先ほどから議論があるように、早い段階から始めてほしいという意見もあった。</p> <p>未納のことや公費の補填のこと、公会計化のことなど、その結果を保護者の皆様にきちんと説明し、返金や追徴の可能性も含めて深く議論していく、その辺りが着地点だとお話をお聞きしていましたが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>今年、栄養士の先生方が非常に苦しい思いをされているのが返金問題。返金問題も3分の1方式ということで非常にアバウトな形。前回お示したように、3分の1方式は実食数とは違う金額で返している現実もある。給食を何十年間も運営してきたが、非常にアバウトな形でやっていたようですので、ルールづくりをきちんとしなければいけないと思う。</p> <p>集金、返金、追加徴収を含めて今後検討していただかなければ、この状況を乗り切っていけないのではないかと考えている。今後、その辺も含めて検討していただきたいと思う。</p> <p>それから、12月からの会議では全然間に合わないと思いますので、ご検討いただければと思う。</p>

【委員長から】

- 次年度の課題を頂戴した。今の話を十分踏まえて、次年度の運営委員会は、早い時期から周到な調査研究を基に活発なご議論いただければと思う。
- 学校が出しているもので、保護者の皆様向けにお出ししているものになる。「なお、学校給食費につきましては、保護者の皆様の代表も参加されている札幌市学校給食運営委員会の答申を得ておりますことを申し添えます」と締めている。申し添えているのに十分な説明がされていないことが改めて浮き彫りになった。その辺りを課題にしながら、令和3年度は年間基準実施回数によるものとしたと思う。

【質疑応答】

委員	<p>令和3年度も年間基準実施回数で進めるということで確認されたと思うが、再度、要望する。</p> <p>去年の調査でこの回数が出てきたものが学校の回数としてそのまま行われていくと思うが、令和3年度から、各学校でこの年間基準実施回数を意識した教育課程の組み直しというか、これを意識したものに変わっていただきたい。</p> <p>今年度は、コロナウイルスで学校給食がかなりダメージを受けている。余力がない状態。来年はこれを引きずって給食費が上がらないとなると、栄養価がどうなるかということが心配。</p> <p>もともと回数を頑張っているところはさらに苦しい状況になると思う。基準に近づける努力をしていただかなければ苦しいと思う。ご周知いただくことを強く願います。</p>
委員	<p>まさに努力しなければならないと思う。しかし、毎年これだけばらついている年間基準実施回数に対して学校が努力していないわけではないはず。ご指摘がありましたように、各校には絶対に事情があるはず。けれども、こうなるのです。</p> <p>令和3年度は令和元年度に比べるとさらに数字が落ちていきます。プラスマイナス、プラスマイナスと、ほぼばらけている状況になっている中で、年間基準実施回数とはどういう意味を持つのだろうと考えます。</p> <p>多く取った分は、全ての給食に対して増やすなどして作っていただくことで解決するというお話でしたが、そうでない学校と明らかに格差がでる。それは、4分の1のリンゴが5分の1になるくらいの差かもしれませんけれども、明確に差が出ている。</p> <p>私が非常に嫌だと思うのは、親学校と子学校を比較したときに親子で回数が違ったとき。親子の2校では、回数が多いほうの学校の増えている分の給食費を少ないほうが持っている。そもそも違う回数で同じものを食べなければならないのに、子学校の分を親学校が負担しなければならないのかという話を学校間で説明し切れるのかと思う。そこは非常に不合理だと思う。</p>

	<p>これについても親学校、子学校でできるだけ行事を合わせてくださいと言うが、100%合うことはまずない。親子関係になったときに100%は合わせられない。実施回数は絶対に違う。そのときの1校分の金額はすごく大きい額で、それをどちらかがのんでいるということですから、これは不公平以外の何物でもないと思っている。</p> <p>そもそも事務局が示す基準回数がこれだけばらけている現実があるのに、本当にこれを基準回数と考えていいのかと私は思っている。</p> <p>先ほどありましたが、地域事情や学校の特色を考えて、それを全て給食に合わせなければならないのではというのは話が違うと思う。</p> <p>教育課程があって、子どもたちに安心・安全な給食を出していくことが筋だと思う。基準メニューもきっちりの回数で作っているわけではなく、余裕を持って出している。その中でやりくりしていただいているわけですから、各学校で違ってもそんなに大きい支障はないと思っている。</p>
委員長	<p>課題はたくさんあると思うが、少なくとも、栄養士の皆様方がどうのご苦労をしているのかということがある。</p> <p>そもそも各学校は努力していると思うが、なぜ学校長名なのだという校長もいる。小学校長会の3月総会、研修会は、イントラネットでの開催になるが、十分な理解をしてその意味を考えて、全校長に、改めてその辺りの周知をしっかりと図っていきたいと思う。</p> <p>先ほど、未納、公費投入、結果説明、返金、徴収など、様々にあったが、公会計化の話も出た。そうになると、逆に、三、四年の短い間で年間基準実施回数から実回数になって公会計化になる。そのために徴収の業務がとんでもなく煩雑になって、ただ混乱してしまったら、例えば、公会計化までの道筋をしっかりとつくって、ここまでは年間基準実施回数でいこうというやり方もあるかもしれない。</p> <p>ばらばらではなくセットで考えていかなければならないと思いますし、それについての様々な懸案事項も含めて教育委員会事務局にお願いしたいと思う。</p> <p>それでは、先ほどの一食単価のところに話を戻したいとお</p>

	<p>思います。掛ける数は決まったが、掛けられるほうの数については、先ほど皆様方から苦しい状況をお聞きした。</p> <p>実際に値上げしないことになった場合に、どういうことが起こるかという例を改めてお話しいただけますか。</p>
委員	<p>数年前に据え置きになったときのことを思い出した。年度当初から確実に普通の給食はできないという状況でしたので、全栄養士会員にお話をし、4月から締めていきましようというお話をしして運営したことを覚えている。</p> <p>今回は同じような対応になると思うので、栄養価自体は今の基準をしっかりと取っていただく自信はありません。野菜自体も高い野菜を抑えてモヤシが増えることが確実にあるのではないかと思う。</p>
委員長	<p>もう一度、一食単価の話に戻して、改めて、今のようなお話も踏まえながら、据え置きか、値上げかということ为先ほどと別な観点で、あるいは回数のことが出たのですが、それを踏まえたお話はありませんか。</p>
委員	<p>年間基準実施回数の話があったが、それを超えて給食を実施しているところは、さらに苦しい状況になると思う。私たちは、栄養士の代表としてこの給食費の会議に出させていただいているが、会員から今年は給食費が苦しいという話を聞くと、代表として出させていただいているので、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになる。</p> <p>先ほど回数の話があったが、中学校3年生では、基準回数より7回も多いところがある。7回掛ける330円は結構大きいと思う。それだけの額を日々の節約で埋めていくのは本当に大変なことだと思う。ですので、給食費や基準回数のことを学校内に伝えていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>先ほども言いましたように、4分の1のリンゴが5分の1や6分の1になったり、前回も前々回も言いましたが、本校のフルーツは、一番手っ取り早い方法でパインの缶詰ばかりが出て、イチゴがようやく出るくらいになっている。旬のものが本当に食べられなくなっている。栄養士が悪いとは決して思っているわけではなく、現状でそうなっていると思う。</p> <p>栄養士の皆さんは遠慮されておっしゃらないと思うのだ</p>

	<p>が、聞いてみるとすごく工夫をされている。</p> <p>それから、パスタという袋麺のスパゲティーもあるのだが、これも自分のところでゆでたほうが安い。でも、作業量が相当増えます。先ほど言いましたように、そこで負荷がかかることによる事故が私はすごく心配です。</p> <p>そういう状況をつくらないでいただきたいと思っています。そのためには、対価に等しい給食をつくる環境をつくっていただきたいと思う。</p> <p>栄養士さんの肩を持つつもりは全くないのですが、最終的には私ども校長に責任が来ます。お金が足りないが、値上げができないことによるリスクを避けさせていただければ、本当にありがたいと思う。</p>
委員	<p>何が正解か分からないので、本当に難しいと思っている。</p> <p>先ほど、提案したことについてお聞きするが、札幌市は2月までは一律だが、来年度は基準回数を決めて、3月で各校で調整することは難しいことなのかということをお聞きしたいと思う。</p> <p>校長会から出たように、値上げは難しいのではないかということがあると思う。一食単価は上がるが、来年度は基準回数を1回減らして、取りあえず値上げをしないでやっていきますということで保護者の方に説明して、学校もそれに合わせることはできるのか、その辺りはどうでしょうか。</p> <p>来年度は何ならできるのか、値上げはできるのか、値上げをしないのであれば、今言った回数のことがある。</p> <p>2月まで札幌市で全部統一して、3月だけで調整することもある。先ほどの返金の話も、例えば、コロナウイルス対応のときにすぐ返すのではなくて、3月に調整しますので、待ってくださいという形で、全て3月で調整することはどうなのかと思っておりますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>まず、3月で調整するというお話だが、3月で調整することとは、結局、年間基準実施回数というよりは実回数による給食の提供になると思う。</p> <p>あくまでも4月から2月までの間を年額で計算して、均等になる金額になっているので、例えば、その間に給食を食べなかったり、転校した場合などに3月で調整する形になる</p>

	<p>と、あらかじめルールを決めておかなければいけない状況になると思う。それが実際にできるかというところ、正直なところ、難しいと考えている。</p>
委員	<p>来年度は値段を上げないので、各学校の基準回数を減らして取り組みましょうということですが、それができるのか。</p> <p>それがすごくいいというわけではないが、そういうことも選択肢の一つとして考えなければいけないのかという意味で提案した。</p>
委員	<p>基準回数を下げるということは、集めるお金が少なくなるということ。しかし、物価が上がっている中で栄養価を担保しなければならないといったときに、ほかのメーカーであれば、瓶に入っているケチャップの内容量を少なくして出すかもしれないけれども、学校給食はそういうことができない。栄養士さんに非常に負担がかかります。</p> <p>先ほど言ったように、節約というところで負担がかかるのに安全性の担保ということになっていくと、私は危険性があると思っている。</p>
委員	<p>私は、栄養士さんたちの見方です。決して給食の質を下げてくださいということではなくて、むしろ今は値上げができない状況だということで、給食を出す回数を減らすのです。</p> <p>例えば、来年度に関しては、お弁当が多少増えるかもしれないということも含めて、学校側が説明できるのかということ。その代わりに、今年度は値上げをしないことにいたしますという方法ができるのかということなのです。</p> <p>それがいいとは決して思っていないのだが、各団体さんで検討された際に、中学校長会で値上げは難しいのではないかとということがありましたので、それも一度考える必要があるのではないかと考えたところです。</p>
委員	<p>お弁当は、遠足でさえもアレルギーの問題が出てくる。ちょっと交換しましたということがないとは言えない。お弁当は相当の負荷がかかりますか。普通の授業なのにお弁当というのは、特に小学校だと私は全くイメージが湧きません。</p> <p>スキー学習が中止になったので、その日はお弁当登校してくださいということはあるが、衛生管理などが非常に苦しいのです。中には持ってこられない子や隠して食べなければな</p>

	<p>らないことがあるときに、それが食育かと私は思う。</p> <p>本当は全部が弁当であればいいかもしれないのですが、今の状況ではそうならないし、そのために給食があるのであって、安易に弁当にすることはできないと思う。</p> <p>例えば、お弁当の日を3回くらい出しますということになると、逆に何を考えているのですかと言われるような気がします。</p>
委員	<p>そうであれば、値上げをしなければいけない方向になると思います。それも含めてどうすべきか。</p> <p>回数の部分をどの数字でいくのかという話がありましたが、今は最大でやったらどうかという意見も出ましたし、事務局で提案くださった数字を平均して使っていくという意見も出たと思う。</p> <p>その金額の中でやりくりをせざるを得ないのか、その中で教育側で給食を合わせるようにしていただくのか、もしくは金額を最後に調整することもあるのか、考えなければならぬことはまだいろいろあると思って聞いていた。</p>
委員長	<p>事務局、回数のごことはどうですか。</p>
事務局	<p>回数については一食単価の話が出ているが、表の中に年額が幾らという記載があるように、掛けられる数と掛ける数があって、答えが出てくるため、回数が動くと年額が値上げになることもあるので、回数を変えることはなかなか難しいと思う。</p> <p>今までの答申の中では年間基準実施回数に近づけていこうということで進めてきた。そして、先ほどもお話が出ていたが、来年度も基準回数に何とか近づけていくことを考えながら進めていこうと考えている。</p> <p>先ほどの仕組みの話の中で、働き方改革による公会計化の話や徴収の話などが出ていたが、公会計化の部分については、今後検討を進めていきますが、徴収の方法などが変わっていく部分があると思う。</p> <p>令和3年度については、回数が変わると年額が上がることもあるので、なかなか難しいと思っている。</p>
委員	<p>分からないことが一つあるので、教えてください。</p>

	<p>年間基準実施回数表だが、例えば、令和3年度の1年生の場合、年間基準実施回数が196回、平均回数が196.8回、中央値が197回で、大体1ぐらいずれていると思っていた。</p> <p>分布図については見たことあると思っていたら標準偏差の表で、偏差地50はどこなのだろうと思ったのだが、この算定の仕方自体がよく分からないので、説明していただきたいと思う。</p> <p>意見としてですが、給食費が原材料費であること自体を我々は知らないです。ですので、原材料費を据え置くというのはおかしいですね。毎年毎年、原材料費がこれだけ上がっていて、それが給食費ということになると、値上げしますと言われてもそうなのだと納得します。それには、人件費などを載せていないということをきちんと説明すれば、上がって当然で、上がらなかったらどうなっているのですかという話になっていくと思いました。</p>
委員	<p>年間基準実施回数表のことだが、中学校の計算をしたところ、基準回数内に収まっている学校は1年生で34.6%、2年生で36.7%、3年生で47.9%ということで、50%に満たない学校しか基準回数以下ではないのです。残りは1回、2回とか、それ以上多いので、それで本当に基準とみなしていいのかというところが疑問です。</p> <p>この会議に何年間か参加させていただいているのだが、毎年同じ話合いをして、基準に近づけましょうということを確認しているにもかかわらず、この分布はほとんど変わらない状況があるのです。ですので、近づけること自体が厳しい話なのだろうと認識しています。それにもかかわらず、40%の学校しか入らない数値を年間基準実施回数とすることの意味が分からないのです。そこに見直しをかけていただきたいと強く要望します。</p>
委員	<p>こんな言い方は失礼かもしれないが、令和3年度の予定回数の分布を見ても、先ほど言いましたように令和元年度よりもさらに散らばっていて、収れんしていない状況がある。</p> <p>先ほど学校の努力でとおっしゃっていましたが、学校は努力していないわけではないはずですが、でも、この結果</p>

	<p>なのです。</p> <p>中学校3年生が悪いということは一切言いませんけれども、中学校3は、前回出した資料では山がかなりずれている。中学校の行事を何とかしなさいということでしょうか。それが努力ということなのかと私は聞いたのですけれども、それは学校の特性なり、地域の特性なりがある中で、先ほど委員がおっしゃったように、今まで積み上げてきたものを給食のために変えなければならないのかと思います。苦しいなら変えますけれども、それが本筋なのかと思う。</p>
事務局	<p>議論が続いておりますけれども、時間が大分経過したので、一度休憩を入れてもいいと思っておりますが、いかがですか。基準回数についてご質問があった部分の確認をしておりますので、一旦休憩を取りたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、10分程度休憩を取りたいと思います。</p> <p>休憩後の会議は、続けたとしても30分程度だと思しますので、よろしくお願いします。</p>

[休 憩]

【委員長から】

- 会議を再開させていただく。先ほどの基準回数の件について、事務局に調べていただいたので、ご説明いただきたい。

【事務局からの説明】

- 上の回数は実際に行う回数を数字として何校あるのかという形で落としている。次の学校数とは、市内で何校あるのかということで、小学校であれば197校になる。
- 次は、回答していただいた学校の数になる。その学校数と回答いただいた回答校数から、回答率は何%なのかという割合を出した。その下の年間基準実施回数については、今現在の年間基準実施回数をそれぞれの学年ごとに記載している。
- この基準回数、プラスマイナス3回率というものは、例えば、小学校の1年生であれば、年間基準実施回数は196回になるが、その196回にプラスマイナス3なので、193から199回の間に入っている学校は、全体の197校のうちの何%なのかということがこの欄の数値になる。
- 次の平均回数は、1年生であれば188回から202回までの校数を単純

に足して、平均したものになる。

- 平均回数のプラスマイナス3回率というのは、先ほどの基準回数の3回率と同様に、196.8回のプラスマイナス3回ということで、それぞれ193.8回から199.8回の間は何校入っているのかという割合になっている。その次の最も校数の多い回数というのは、1年生であれば197回で40校という形になっている。
- 次の中央値は、例えば、学校が100校あった場合に、50番目の学校は何回なのかを示しているものです。200校あれば100校目のところがどこになるのかということを示している。

次の最大と最小については、最大の回数の202回と最小の108回ということと、その差が何回になっているのかということを示したものになっており、以上が小学校と中学校についてそれぞれ出したものになる。

【質疑応答】

委員	基準回数が統計処理されていないことがはっきり分かりました。これをちゃんと統計処理すれば、どこに基準回数を持っていくのかということがもうちょっと見えやすくなると思う。プラスマイナス3回率を85.9%と書いてあるが、明らかにプラスのほうに偏っていることが数値をぱっと見ただけで分かる。ですので、きちんとした分布図といいますか、統計処理をしてもらいたいと思いました。
委員	このプラスマイナス3回率だが、小学校の80%台に比べて、中学校3年生にいたっては57%というところで、これを見ても年間基準実施回数は少なめに見ているのではないかと不思議に思った。このような状況でずっと来ていると思うのですけれども、ここに問題はないのかなとも思います。
委員長	過年度の委員会で審議されたものとはいえ、改めて見ると問題性をはらんでいることが分かる。 事務局にお聞きしたいのだが、会議をもう一回設定することは可能か。
事務局	以前、今回の委員会で終わらない場合の委員会開催のご都合について皆様に照会させていただいた。本日以降の可能な日にちとして、委員の皆様が一番多く出席していただける日ではないのですけれども、2月25日の3時からであれば委員会の開催は可能。

委員長	<p>一旦、2月25日というご回答をいただいていると思うが、その後の3月3日には小・中の校長会で総会があり、それでリミットになる。</p> <p>次回は、事務局にもご準備いただくとともに、我々も、改めて落ち着いて考えて、答申に結びつけられる議論をそれぞれで準備してくる形にならざるを得ないと思う。</p> <p>皆さん、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>基準回数は、前から決まっていた値を載せた感じの回答だったと思う。これについて統計処理をした分布図に変えて、客観的に見える資料を作っていたらと思う。</p>
委員	<p>統計処理とおっしゃっているのだが、イメージとしてはどういうものか。</p> <p>数字があったときに平均値と中央値で考えることが一つの方法。それから、外れ値として、回数が一番多いところと少ないところの1校しかない数値を外して、できるだけ真ん中のところで平均を取る方法も統計的にはあります。</p> <p>中央値は、先ほど言ったように大きい数がたくさんあったときの真ん中の50番目ですが、回数が多いときは平均値がそちらに引っ張られて出てきます。平均値や中央値を出すことは統計を出すときによく使われる方法だと思うが、どういうものをイメージされているか。</p>
委員	<p>変数が出ているとすると、統計処理をされてきれいな山にする。中心はここですというものが出て、それが偏差値50ということになる。</p> <p>この基準回数とか平均回数よりも高いほうにたくさん固まっている。例えば、1年生だと、40、30、19に足したものと、24、12、4を足したものでは、明らかに197から199までのほうが多いことが分かる。ボリュームを考えた上での真ん中はこれではないのではないかという話です。中央値もあるし、平均値もあるが、標準偏差値みたいなものを出すときの分布図の形の統計処理をすると、基準回数がもうちょっと上に上がるのではないかと思った。</p>
委員長	<p>いずれにしても、令和3年度は年間基準実施回数でいきますが、これがもし変わった場合は、今度は掛ける数が変わっていくので、結果的には値上がりします。</p>

	<p>一食単価は一旦はコンプリートされているので、まず、一食単価に絞りたいと思うが、算出の仕方について、課題が出ているので、来年の早いうちから設定方法も含めて考えていただきたいと思う。</p> <p>次回は現状の物価を踏まえてより広い視野から考えていきたいと思う。ここに集まっている皆様は、それぞれの立場で折り合いが見つからないかということはこの2時間ですと考えると、どなたか意見を通そうということは誰一人も考えていないので、そのところで、次回の2月25日にお集まりいただきたいと思います。</p> <p>議事を進める立場の者としても、次年度はできる限り早いうちから、場合によってはきちんと調査研究する部会などを立ち上げていただいてもいいと思う。一度規約を見直して、進め方を考えていただきたいと思う。</p> <p>次回は一食単価に絞った形で議論すると間に合うと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>一食単価の値段はそれでいいと思うのですが、この会として1年の決議は何もされないのか。</p> <p>この委員会としては、例えば、今までどおりでいくのか、もしくは、実態に即して回数でいくのかというところの決議はしないのか。</p>
委員	<p>公会計化をぜひともしていただきたいという思いがある。私は前年度の3回目をお願いして、20の政令指定都市の徴収方法についてのデータはいただいたのだが、その中身はどうなのかが分からない。公会計化されているのかいないのかというところを調べてほしいと申し上げて3回目が終わっている。</p> <p>ここをもう一回調べていただいて、次回はぜひとも20の政令指定都市の公会計化の状況等を併せて教えていただければと思う。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>今、ご質問があって改めて思ったのだが、一食単価掛ける年間基準実施回数でいきますという確認はしていない。</p> <p>この委員会として、年間基準実施回数を使うかどうかを一度確認して、その基準回数をどうするかという議論を次にするということですね。一度、これでいいですねという確認を</p>

	したほうがいいと思いました。
--	----------------

【委員長から】

- 掛ける数と掛けられる数について、令和3年度は状況と照らしてやむを得ずという部分があるかもしれないが、一食単価掛ける年間基準実施回数という公式で答申案を定めていくということによろしいか。
- 令和3年度の一食単価については、次回、臨時で第4回を開催し、そこを切り口として答申につなげていく方向によろしいか。

【質疑応答】

委員	質問だが、この前は役員会、理事会で話をもんだ。札幌市は地域性のある10区から成り立っていて、各区のP連の会長が理事になっている。東区P連にも役員理事会があるのですが、そこで議論してもいいということか。
委員	<p>次回、年間基準実施回数を考えるに当たり、例えば平均値や中央値以外の考え方として、学校の授業可能日数が暦に出ていたが、そこから資料に書いている給食の出ない日を差し引く方法もあります。折衷案といいますか、最低限みんなのいいところ取りができないかと思っている。</p> <p>それから、上限に近いところ、例えば、小学校なら卒業式など、絶対に給食のない日を何項目か挙げて、基準をつくる方法ができるかと思う。</p> <p>宿題というわけではないのだが、小学校と中学校の校長会それぞれから、上限値というか、どの学校も絶対に給食を出さない日から数字を出すことができると思うのですが、そういう出し方ができないかという提案です。</p>
委員長	令和4年度以降、そういうことが算出できるかどうかということですね。その辺りについては、校長会でも話題にしたいと思う。事務局から、その他の連絡などはありますか。

【事務局から説明】

- 次回は、2月25日木曜日の3時から開催となる。
- 次回開催まで1週間という短い期間だが、案内をいたしますので、ご確認いただいておりますお集まりいただければと思う。

VII 閉会